

豊島区
介護保険アンケート調査
報告書

平成29年3月

豊島区

目 次

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	4
5. 調査結果を見るうえでの注意事項	4

第 2 章 日常生活圏域ニーズ調査

《調査結果の概要》	6
1. ご本人について	8
(1) 性別	8
(2) 年齢	8
(3) お住まいの地区	9
(4) 居住形態	10
(5) あなた自身の年収	11
(6) 暮らしの状況	12
(7) 家族構成	14
(8) 日中独居の状況	16
(9) 普段の生活での介護・介助の必要性	18
(10) 介護・介助が必要になった主な原因	19
(11) 主介護・介助者	21
2. 仕事について	22
(1) 現在の就労状況	22
(2) 就労形態	23
(3) 就労している理由	24
(4) 何歳まで就労したいか	25
(5) 就労するうえで重視すること	26
3. 毎日の生活について	28
(1) 日常の動作	28
(2) 運動器の障害	28
(3) 過去 1 年間の転倒頻度	29
(4) 転倒に対する不安	29
(5) 週 1 回以上の外出	30
(6) 外出回数の減少	30
(7) 外出を控えているか	31
(8) 外出を控えている理由	31
(9) 外出時の移動手段	32
(10) 日常生活上であてはまること	34

(11) 幸福度	35
(12) 趣味の有無	36
(13) 生きがいの有無	37
(14) 歯の数と入れ歯の利用状況	38
(15) 入れ歯の手入れ	39
(16) 噛み合わせの状態	40
(17) 誰かと食事をする機会	41
4. 健康について	43
(1) BMI	43
(2) 主観的健康感	44
(3) 治療中の病気	45
(4) 治療の途中で通院をやめた経験	48
(5) かかりつけ医の有無	49
(6) 健康診査の受診状況	50
(7) 健康診査を受診していない理由	51
(8) 喫煙状況	51
5. 地域とのつながりについて	52
(1) たすけあいについて	52
(2) 何かあったときの相談先	59
(3) 友人・知人と会う頻度	63
(4) よく会う友人・知人の続柄	65
(5) あなたができる手助けの内容	67
(6) 地域活動への参加頻度	70
(7) 地域づくりへの「参加者」としての参加意向	76
(8) 地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向	77
(9) 災害時や緊急時に一人で避難できるか	79
(10) 避難に際して手助けを求められる人の有無	80
(11) 高齢者や障害者の個人情報をもとに町会に対して提供すること	81
6. 介護保険について	82
(1) 現在の介護度	82
(2) 介護保険サービスの利用状況	83
(3) 介護保険サービスを利用していない理由	84
(4) 自宅での介護希望意向	86
(5) 施設等での介護を希望される理由	87
(6) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	88
(7) 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度	89
(8) 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)についての評価	90
(9) 自由回答	91
7. 各種リスクの状況	98
(1) ロコモの恐れのある高齢者割合	98

(2) 運動器機能の低下している高齢者割合	99
(3) 口腔機能の低下している高齢者割合	100
(4) 在宅で閉じこもり傾向のある高齢者割合	101
(5) 転倒リスクのある高齢者割合	102
(6) 低栄養状態にある高齢者割合	103
(7) うつ傾向の高齢者割合	104
(8) 孤食の状況	105

第3章 要介護認定者調査

《調査結果の概要》	108
●調査票を記入される方について	109
(1) 調査票記入者	109
(2) 調査対象者の居住地	109
(3) 介護保険サービスの利用状況	110
1. ご本人について	111
(1) 性別	111
(2) 年齢	112
(3) お住まいの地区	113
(4) 居住形態	114
(5) あなた自身の年収	115
(6) 暮らしの状況	116
(7) 家族構成	117
(8) 日中独居の状況	118
(9) 現在の介護度	118
(10) 介護・介助が必要になった主な原因	119
2. 健康について	121
(1) 治療中の病気	121
(2) 通院や往診などの診療状況	123
(3) 往診で受けている内容	124
(4) 治療の途中で通院をやめた経験	125
(5) かかりつけ医の有無	126
3. 地域とのつながりについて	127
(1) たすけあいについて	127
(2) 何かあったときの相談先	129
(3) 災害時や緊急時に一人で避難できる可能性	131
(4) 避難に際して手助けを求められる人の有無	132
(5) 高齢者や障害者の個人情報をご提供すること	133
4. 介護保険制度やサービス利用について	134
(1) 現在利用しているサービス内容	134
(2) 上限までの利用割合	137

(3) 上限まで利用しない理由	138
(4) サービス利用に要する費用の考え	140
(5) 介護サービスの質に対する満足度	141
(6) 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度	142
(7) 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)についての評価	143
(8) 事業者を選ぶときの方法	144
(9) 特別養護老人ホームへの入所検討状況	145
(10) 入所申し込みをした特別養護老人ホームの所在地	146
(11) 申込先の施設から入所可能の連絡が来た場合の対応	146
(12) 介護の希望	147
(13) 自宅以外での介護を希望する理由	148
(14) 住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと	149
5. 介護保険以外のサービスについて	151
(1) 介護保険以外の保健・福祉サービスの利用意向	151
(2) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	153
6. 介護者の状況について	154
(1) 家族等の介護状況	154
(2) 介護を理由に仕事を辞めた方の有無	155
(3) 主な介護者の性別	156
(4) 主な介護者の年齢	156
(5) 主な介護者の同居状況	157
(6) 主な介護者の介護期間	158
(7) 主な介護者の1日あたりの介護時間	159
(8) 主な介護者の要介護度	160
(9) 不安を感じる介護等の内容	161
(10) 主な介護者の現在の勤務形態	163
(11) 介護をするにあたっての働き方の調整状況	164
(12) 働きながらの介護継続の可能性	165
(13) 自由回答	166

第4章 ケアマネジャー調査

《調査結果の概要》	172
1. 事業所の概要について	173
(1) 法人の種類	173
(2) 併設の状況	173
(3) 職員数	174
(4) 事業所の所在地	175
(5) 性別	175
(6) 年齢	176
(7) ケアマネジャー以外に所有する資格	177

(8) ケアマネジャーとしての従事期間	178
(9) 主任ケアマネジャーの資格の取得状況	179
(10) 主任ケアマネジャーの資格取得希望	179
(11) ケアマネジャーとしての転職経験	180
(12) 現在の事業所でケアマネジャーとしての在職期間	180
(13) 勤務形態	181
(14) 兼務の内容	181
2. サービスの基盤について	182
(1) 今後さらに整備が必要と思われるサービス	182
(2) 在宅で暮らし続けるために必要なこと	183
(3) ケアプラン作成にあたって組み込みにくいサービスの種類とその理由	184
3. 各種連携・調整について	186
(1) 事業所に関する情報収集方法	186
(2) 高齢者総合相談センターとの連携状況	188
(3) 連携がとれない理由	189
(4) 高齢者総合相談センターに期待すること	189
(5) 医療機関との連携	191
(6) 連携がとれない理由	191
(7) 医療機関等からの情報収集	192
(8) 医療機関との情報連携手段	193
(9) 自宅に移行した利用者の居宅サービス計画(ケアプラン)の作成状況	194
(10) 在宅医療における課題(自由回答)	195
4. 業務の課題等について	196
(1) ケアマネジャー業務を行う上での課題	196
(2) ケアマネジャー業務で負担感を感じること	198
(3) ケアプラン作成における相談先	200
(4) 相談内容	202
(5) 介護保険制度の改正内容についての勉強方法	203
5. 質の確保等について	204
(1) 研修状況	204
(2) 研修内容	205
(3) 研修や資格取得支援の内容	206
(4) 研修の講師	207
(5) 質の向上を図る上で必要なこと	208
(6) 質の向上を図る上での課題	209
6. 災害時の対応等について	210
(1) 大規模災害が発生した場合の取り組み	210
(2) 取り組みの内容	210
(3) 自由回答	211

第5章 介護サービス事業所調査

《調査結果の概要》	214
1. 事業所の概要について	215
(1) 法人格	215
(2) 事業所で取り扱っているサービスの種類・受入状況・経営状況・今後の展開	216
(3) 夜間及び深夜の指定通所介護等以外のサービスの実施状況	220
(4) 従業員数	221
(5) 従業員の勤続年数	222
(6) 労働規定の周知方法	222
2. 人材確保・定着・育成について	223
(1) 人材の確保の状況	223
(2) 不足している職種	223
(3) 区民向け研修受講者の受け入れ意向	224
(4) 総合事業を実施する上での課題(自由回答)	225
(5) 人材確保の取り組み	226
(6) 定着・育成の取り組み	227
(7) 離職率	228
3. 収支状況・処遇改善の状況について	229
(1) 本年度の収支状況	229
(2) 昨年度との比較	229
(3) 収支向上や改善への考え	230
(4) 収支向上や改善への取り組み	230
(5) 処遇改善の実態	231
(6) 具体的な改善内容	231
(7) 従業員への効果	232
4. 各種連携の状況について	233
(1) ケアマネジャーとの連携状況	233
(2) 連携の課題	233
(3) 情報提供の状況	234
(4) 医療的ケアへの対応	234
(5) ターミナルケアにおける課題	235
5. サービスの質の向上について	236
(1) サービスの質の向上のための取り組み	236
6. 災害時の取り組みについて	237
(1) 大規模災害が発生した場合の取り組み	237
(2) 大規模災害が発生した場合の取り組みの課題(自由回答)	238
(3) 自由回答	239

資料編

1. 日常生活圏域ニーズ調査票	243
-----------------	-----

2. 要介護認定者調査票	255
3. ケアマネジャー調査票	267
4. 介護サービス事業所調査票	278

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

第7期介護保険事業計画は、第6期から引き続く方針に基づき、「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年を見据えた「地域包括ケア計画」として策定するものである。

本調査は、地域の課題や要介護度の悪化に影響等を与える日常生活の実態、介護する家族の状況等について把握し、計画策定に必要な基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の種類

調査名	調査対象	規模
1. 日常生活圏域ニーズ調査	豊島区内在住の65歳以上の方で、要支援・要介護認定を受けていない方及び要支援1・2、要介護1・2の認定を受けている方	4,500人 (無作為抽出)
2. 要介護認定者調査	要介護3～5の認定を受けている方で、居宅サービス及び地域密着型サービスを利用している方とその介護者（平成28年9月時点）	1,500人 (無作為抽出)
3. ケアマネジャー調査	平成28年9月にケアプラン作成の実績がある、豊島区内の居宅介護支援事業所で働いているケアマネジャー	92人
4. 介護サービス事業所調査	豊島区内に所在するサービス提供事業所（居宅介護支援事業所を除く）	203事業所

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成28年11月24日（木）～平成28年12月12日（月）

<回収状況>

調査名	調査対象数	有効回収数	有効回収率
1. 日常生活圏域ニーズ調査	4,500	2,285	50.8%
2. 要介護認定者調査	1,500	692	46.1%
3. ケアマネジャー調査	92	62	67.4%
4. 介護サービス事業所調査	203	120	59.1%
合計	6,295	3,159	50.2%

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 日常生活圏域ニーズ調査	(1) ご本人について (2) 仕事について (3) 毎日の生活について (4) 健康について (5) 地域とのつながりについて (6) 介護保険について
2. 要介護認定者調査	(1) ご本人について (2) 健康について (3) 地域とのつながりについて (4) 介護保険制度やサービス利用について (5) 介護保険以外のサービスについて (6) 介護者の状況について
3. ケアマネジャー調査	(1) 事業所の概要について (2) サービス基盤について (3) 各種連携・調整について (4) 業務の課題等について (5) 質の確保等について (6) 災害時の対応等について
4. 介護サービス事業所調査	(1) 事業所の概要について (2) 人材の確保・定着・育成について (3) 収支状況・処遇改善の状況について (4) 各種連携の状況について (5) サービスの質の向上について (6) 災害時の取り組みについて

5. 調査結果を見るうえでの注意事項

- ・基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足しあわせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・原則、回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・分析軸の項目に「無回答」があるため、全体のnと合計があわない場合がある。
- ・本報告書では、居住地域を日常生活圏域で3地区に分類して集計している。

3区分	住所
東部	駒込1～7丁目、巣鴨1・2丁目、南大塚1～3丁目
	巣鴨3～5丁目、西巣鴨1～4丁目、北大塚1・2丁目
中央	北大塚3丁目、上池袋1～4丁目、東池袋1～5丁目
	南池袋1～4丁目、高田1～3丁目、雑司が谷1～3丁目、目白1・2丁目
	西池袋1～5丁目、池袋3丁目、目白3～5丁目
西部	池袋1・2・4丁目、池袋本町1～4丁目
	千早1～4丁目、要町1～3丁目、長崎1丁目、高松1～3丁目、千川1・2丁目
	長崎2～6丁目、南長崎1～6丁目